

令和7年度第1回 築地場外市場荷捌きルール検討部会における主な意見と回答

議題（1） 築地地区の現況とこれまでの検討経緯等

特になし

議題（2） 荷捌きルールの検討

	意見等	回答
①	<ul style="list-style-type: none">議論の流れについて本日出席の地元委員の方々にとって分からぬ部分があると思うので、分からぬことをざくばらんに質問できる機会が必要ではないか。また、難しい用語についてはしっかり説明していただかないと、地元の方の間で誤解が生じる危険性がある。築地地区駐車場整備計画の目標年次については、「2045年に荷捌きルールが策定される」というスケジュール感で捉えればよいのか。荷捌きを広義で捉えれば、場外市場では自転車や二輪車等で配達をする業務が特に多く、ターレも動いており、このような乗り物のこと等も今後は考えなければならない。	<p>→検討部会と並行して地元との意見交換はさせていただきたい。分かりにくい点があれば、意見交換のなかで遠慮なく仰っていただきたい。</p> <p>→本整備計画では、整備目標量等を実現する目標年次を2045年と定めている。荷捌きルールの検討は進捗次第だと思うが、荷捌きの在り方や場所が場面により変わってくると思うので、築地市場跡地開発等の状況も踏まえながら、最終的に街のインフラが出来上がって落ち着くのが2045年頃だと思っている。</p> <p>→本検討部会の質疑応答だけで十分とは思っていないので、アンケート調査、地元との意見交換等も含めて幅広くご意見を頂いたうえで、うまく消化できるように事務局としても考えていきたい。</p>
②	<ul style="list-style-type: none">自動車だけでは問題が片付かないことが築地の問題だと思う。一つの交通手段に限らず、総合的な対応をお願いしたい。	—

	意見等	回答
③	<ul style="list-style-type: none"> ・「荷捌き」を、2つにはっきり分けたほうが良いと思う。一つが搬入、つまり業者やメーカーが商品を持ってくること。もう一つが買い出しに来た方が自分で車に積んで持ち出す・持ち帰ること。持ち出すほうの荷捌きは、駐車場・駐輪場の確保である程度解決できると思うが、業者が路上駐車して搬入する状況をどうするかが、一番大きな問題だと思う。 ・荷捌き場をエリア内の複数箇所に配置し、そこからは手動で各店舗に配達するという考え方を取る必要がある。荷捌き場が1か所しかないと、荷捌き場から遠い店にとっては非常に不便であり使わなくなると思う。 ・目標年次について、最終的に2045年に形になるということであれば納得できるが、計画自体の目標年次が2045年であるならば、少し違和感がある。 	<p>→搬入と搬出の2つの側面があることは理解しており、それぞれに応じた考え方があると思うので、荷物の動きを総合的に考えて検討したい。</p> <p>→荷捌きを行う場所を確保することが非常に大事であると同時に、難しいことだと考える。広範囲に、複数箇所あったほうがよいというご指摘も踏まえて、検討を進めたい。</p> <p>→2045年に整備できれば良いということではなく、早めに確保できるならばそれに越したことは無いと思う。場外市場の周辺では跡地開発等の大きな変化があると思うので、それらをしっかりと捉えながら、計画の見直しも柔軟に行うこととしている。</p>
④	<ul style="list-style-type: none"> ・いきなり2045年に整備されるのではなく、様々なことを段階的に行い、ステップアップしながら79台の整備を図る、ということだと思う。しかし、物理的なスペースだけでなく、活用の在り方やタイムシェアリング等についてのルールも事前に検討を行い、最終的に79台が整備されたときには確実に利用されるようにする必要がある。 	—
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・築地では年末や年度替わりの時期等が繁忙期であるが、そのときはエリアDの近隣エリアにも自動車が溢れ、お客様も近隣エリアに駐車して荷物の運搬等を行っている現状がある。そのため、近隣エリアも含めて考えたほうが良いと思う。 	<p>→場外市場の繁忙期には駐車場の入庫待ち行列が発生することから、市場跡地開発内の駐車場の臨時的な活用を要請することなどにより、特異的な駐車需要への対応を図ることを駐車場整備計画にまとめていく。これに基づき、繁忙期における駐車場の確保に引き続き取り組んでいきたい。</p>

	意見等	回答
	<ul style="list-style-type: none"> ・場外市場周辺、特に晴海通りは植え込みが歩道を圧迫しており、植え込みの中に大量のゴミが捨てられている。この場所に、荷捌きができる一時的な駐車スペースを確保するよう、区から東京都や警察に働きかけをしてほしい。事例もあるので積極的にやっていただきたい。 ・荷捌き用の駐車施設等については、晴海線の問題等があつて難しいのは分かるが、早く対応できるように組み立ててほしい。波除神社の隣の先行賑わい施設の中に、タイミングを合わせて、荷捌き用駐車施設等を作るよう要望を出している。 ・場外市場や築地魚河岸等の関係者全員に通知を出して、一同に来ていただけのような説明会を、3か月もしくは半年に1回程度、定期的に開催したほうが良いと思う。 ・中央区は基本計画の見直しを約5年おきに行っているので、それと同じような考え方で、今述べたことも組み込みながら、その時々の状況に応じて素早い対応をお願いしたい。 	<p>→整備計画に、「道路空間の適正な利用の促進」を定めており、今ある道路もうまく活用しながら荷捌き用駐車区画等を確保していきたいと考えている。晴海通りは都道なので、東京都とも連携しながらどのような施策ができるか考えていきたい。</p> <p>→場所が変わっても継続的に荷捌きができるように、区として荷捌き駐車施設等の確保に努めていきたい。また、市場跡地開発と場外市場の間に晴海線が通る予定の建築制限区域があるが、区としても、工事を行っていないときには当該区域も有効活用できるのではないかと考えているので、場外市場の現状も踏まえ、使えるところは使わせてほしいと伝えたい。</p> <p>→ご提案のあった説明会も含めて、どのような形が最も伝わりやすいか事務局で検討したい。そのうえで、食のまちづくり協議会等に相談させていただき、説明や、資料送付等を行いたい。</p>
⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・荷捌きルールを策定しても、関係者全員に理解を頂かないとうまくいかないと思う。他地区でも、沿道の各店舗の方々にポスティング等を行なながら説明を行い、やっと実現した例がある。 	—
⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・築地の利用者全体で共通するのは「近くに停めたい」という思いである。私の店の従業員は車を築地川第二駐車場に停めているが、品物を積み込むときは駐車場まで運ぶのではなく、車を取りに行き、晴海通りの路上に停めて積んでいる。 	—

	意見等	回答
	<ul style="list-style-type: none"> お客様は駐車場に停める方が非常に多いが、バイクの方は店の前や近くの路上に停めている。メーカーも晴海通りの路上に停車して納品している。駐車場が近くでなくなることに対して私たちは非常に不安を感じるし、私たち以上に、メーカー等は路上に停める可能性が非常に高いと思う。そのため、20分までの路上での荷捌きを認めるとか、植え込みを使って駐輪場や駐車場を広くするといった対策が必要である。 遠くに停めることに対しては、ソフト施策でどのようにつなぐかを考えることが最も重要だというご指摘があったが、区有施設の駐車場がなくなるのであれば、上記の点を今後しっかりと考える必要がある。 	<p>→荷捌き用駐車場の整備目標量についても、ハードとソフトを組み合わせて79台を確保したいと考えている。その際に道路空間の活用がポイントとなり、交通規制や、荷捌きを推奨する時間帯と歩行者が優先される時間帯を使い分けることも考えられると思う。</p> <p>→区有施設を再編して中に何を入れるかは、地元の方々とも意見交換しながら考えていきたい。限られたスペースなので譲れない部分はあると思うが、荷捌き用駐車場等も含め、地元の方々のご意見を踏まえて考えたい。</p>

議題（3） 今後のスケジュール（案）

特になし

議題（4） その他

	意見等	回答
①	<ul style="list-style-type: none"> 私たちは朝2時頃に通勤しているため、通勤手段は自動車・バイク・自転車しかなく、築地に自転車で通える範囲の地域は家賃が高く住みにくいため、実際は自動車かバイクのみである。そのため、「通勤者用駐車場」という概念を入れ込んでほしい。 	—

以上